

平成27年度 在宅医療関連講師人材養成事業

日時 2016年1月17日(日) 09:00～17:00 日本医師会館 大講堂
主催 日本在宅ケアアライアンス
共催 日本医師会
目的 全国都道府県医師会から推薦された受講者が、地域で在宅医療普及推進活動のアドバイザーを担えるように本研修を位置付ける。

総合司会：和田 忠志 (全国在宅療養支援診療所連絡会)

プログラム [午前：9:00～12:10]

| | |
|-------------|--|
| 9:00～9:10 | 【開会の辞・本研修の趣旨説明】 新田 國夫 (日本在宅ケアアライアンス) |
| 9:10～9:50 | 【総論1】 地域包括ケアシステムと在宅医療 ◆地域包括ケアシステムにおける在宅医療への期待 迫井 正深 (厚生労働省) ◆かかりつけ医の在宅医療と地域特性 鈴木 邦彦 (日本医師会) |
| 休憩 (10分) | |
| 10:00～11:00 | 【総論2】 地域へのアプローチの仕方 ◆その1：行政（県レベルと市町村レベル）や保健所との連携 市民啓発、地区医師会との連携 三浦 久幸 (国立長寿医療研究センター) ◆その2：病診連携 ～地域医療構想を見据えた病診連携とは～ 池端 幸彦 (日本慢性期医療協会) |
| 休憩 (10分) | |
| 11:10～11:40 | 【総論3】 居住系施設等との連携 苛原 実 (全国在宅療養支援診療所連絡会) |
| 11:40～12:10 | 【総論4】 小児在宅医療 中村 知夫 (国立成育医療研究センター) |
| 昼食 (60分) | |

プログラム [午後：13:10～17:00]

| | |
|-------------|--|
| 13:10～14:40 | 【各論1】 多職種協働・地域連携 ◆各職能団体の役割およびかかりつけ医との連携のあり方 i) 訪問看護 佐藤 美穂子 (日本訪問看護財団) ii) 訪問リハビリテーション 宮田 昌司 (日本訪問リハビリテーション協会) iii) 歯科訪問診療 原 龍馬 (全国在宅療養支援歯科診療所連絡会) iv) 訪問薬剤指導など 萩田 均司 (全国薬剤師・在宅療養支援連絡会) v) ケアマネジメント 鷺見 よしみ (日本介護支援専門員協会) vi) 訪問栄養管理 前田 佳予子 (日本在宅栄養管理学会) |
| 休憩 (10分) | |
| 14:50～16:50 | 【各論2】 在宅症例を通じての多職種協働・地域連携の具体的学び ◆症例1) がん緩和 山脇 正永 (京都府立医科大学) ◆症例2) 心理・社会的要因（家族の関わり含む）の処遇困難症例 草場 鉄周 (北海道家庭医療学センター) ◆モデル・ケアカンファレンス 飯島 勝矢 (東京大学) 太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会) 症例1) 特発性間質性肺炎 症例2) アルツハイマー型認知症 石山 麗子 (日本介護支援専門員協会) 工藤 美香 (日本在宅栄養管理学会) 小玉 剛 (全国在宅療養支援歯科診療所連絡会) 高橋 眞生 (全国薬剤師・在宅療養支援連絡会) 瀧井 望 (日本訪問看護財団) 能本 守康 (日本介護支援専門員協会) 平原 優美 (日本訪問看護財団) 宮田 昌司 (日本訪問リハビリテーション協会) |
| 16:50～17:00 | 閉会の辞 鈴木 邦彦 (日本医師会) |